

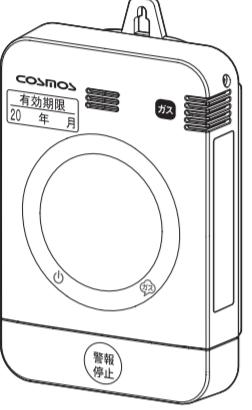
## ガス警報器

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

型式名 XL-175GB

## 取扱説明書

● ガス警報器をお取り付けいただきありがとうございました。  
 ● この取扱説明書はガス警報器の取扱方法を説明します。  
 ● お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。  
 ● 取扱説明書および保証書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。  
 ● 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店または最寄りのガス会社にお問い合わせください。  
 ● 本書はガスを検知して警報を発するものです。ガスもれを未然に防止する装置ではなく、また、ガスによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。  
 ● 本警報器は、ガスを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスが到達しない場合は、ガス警報機能が働きません。



## 新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 (06) 6308-2310㈹  
 [北海道] 札幌 (011) 231-1101 ㈹  
 [東北] 仙台 (022) 295-6061 ㈹  
 [東京] 金沢 (076) 234-5611 ㈹  
 [関東] 東京 (03) 5403-2706 ㈹  
 新潟 (025) 365-1390 ㈹  
 [九州] 福岡 (092) 431-1881 ㈹

## 保証書

このたびは警報器をお取り付けいただき、ありがとうございました。お取り付けいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名 ガス警報器  
 型式名 XL-175GB (全ガス用)

## 記

1. 保証期間  
 警報器本体の有効期限はお取り付け後5年間です。有効期限は、警報器本体ラベルに記載しておりますので、ご確認ください。この有効期限まで保証期間になります。

2. 保証の範囲  
 取扱説明書による正常な使用状態で、前記の保証期間内に故障した場合には、お申し出になり無理にてお取り替えさせていただきます。

お取扱い販売店は最寄りのガス会社とご連絡のうえ、本書をご提示ください。なおお取扱い販売店へお取扱えきれない場合について「4. 保証の適用除外」の項目に記載しておりますのでご確認ください。

3. 保証の範囲  
 保証は警報器本体を対象とします。警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定めた保証の対象ではありません。

4. 保証の適用除外

保証期間内であっても次の場合は保証対象外となります。  
 (1) ご使用上の誤り、および不當な修理や改造による故障および損傷。  
 (2) お取り付け後の取扱い所の移動、落などによる故障および損傷。  
 (3) 地震、風水害、落雷、他の天災、地変による故障および損傷。

(4) 火災、爆破、漏洩、液化性ガス、腐食性ガスによる故障および損傷。  
 (5) 動植物、昆蟲類等に起因する故障および損傷。  
 (6) 車両、船舶、飛行機等に搭載された場合に生じた故障および損傷。  
 (7) 電子部品、電子部品の過熱、過電流、過電圧、過電流などの故障。

(8) 施工説明書および取扱説明書に記載する方法以外の工事設計または取付工事が原因で生じた故障、故障および損傷。

(9) 警報器に表示されるガスの種類以外のガスをご使用になられた場合による故障および損傷。  
 (10) 本書に記載がない場合。

(11) 本書にお取扱い販売店の記入のない場合、あるいは販売店の訂正なし、字句を書き込んだ場合。  
 (12) その他製造元の責任による故障および損傷。

5. お客様へ  
 (1) 有効期限を超過したものに起因しては保証致しません。また、有効期限後はぜひ新しいものと取り替えてください。  
 (2) 本書は日本国内のみの有効です。※This warranty is valid only in Japan.  
 (3) 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無償でのお取り替えおよび安全点検活動のために利用させていただきますので了承ください。

※この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お取扱日	年	月	日
お 客 さ ま	ご 住 所	〒	
お 名 前			様
販 売 店			取 扱 者

製造元 新コスモス電機株式会社  
 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5  
 TEL 06(6308)2310

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。  
 注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

**△ 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。  
**△ 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

**△ 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

## 絵表示の内容

	「必ず行う」事項を示しています。		「水ぬれ禁止」事項を示しています。
	「火気厳禁」事項を示しています。		「分解禁止」事項を示しています。
	「ぬれ手禁止」事項を示しています。		「一般的な禁止」事項を示しています。

## △ 危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。  
 火花などにより、爆発の恐れがあります。

**△ 注意** ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

**△ 警告** マッチやライターなど、火気を使わないでください。  
 感電やけがの原因となります。

**△ 注意** 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

**△ 警告** 電源プラグを抜かないでください。

**△ 注意** 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

## △ 警告

常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。

電源が入っていないとガスが発生しても、警報を発しません。

**△ 注意** 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

誤動作または正常に作動しない恐れがあります。また、5年を超えて長期間ご使用されますと、電源プラグ(予備コンセント含む)がほこりや水分の影響により発煙・発火する恐れがあります。有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

**△ 警告** 噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.6-7参照)

**△ 注意** 警報器をボリ袋などで覆ってください。  
 ● 噴霧が終わったら、換気した後、ボリ袋を取り除いてください。誤動作の原因となります。

**△ 警告** 警報器や電源プラグ(予備コンセント含む)を水につけたり、水をかけたりしないでください。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

**△ 注意** 分解や改造はしないでください。

故障の原因となります。

**△ 警告** 衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

**△ 注意** 警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

ガスもれが発生しても、警報を発しません。

警報器以外の電気製品を同時に使用するときは、警報器の電源プラグに付属の予備コンセントを使用してください。

**△ 注意** 電源コードにステッフルや釘などを打たないでください。

火災の原因となります。

**△ 警告** ガス検知部は、絶対にふさがないでください。

ガスもれを検知しなくなります。

**△ 注意** 煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、高速点滅、ゆっくり点滅は次のように動作します。

電源プラグや予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。  
 火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

**△ 注意** 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。  
 火災の原因となります。

**△ 警告** 警報器の電源プラグ・予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。  
 感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

**△ 注意** 予備コンセントには、消費電力が1490W以下の機器を接続してください。  
 1490Wを超えると火災の恐れがあります。

**△ 注意** 「必ず行う」事項を示しています。

**△ 警告** 「水ぬれ禁止」事項を示しています。

**△ 注意** 「火気厳禁」事項を示しています。

**△ 警告** 「分解禁止」事項を示しています。

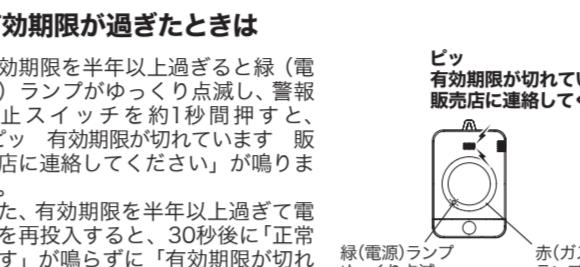
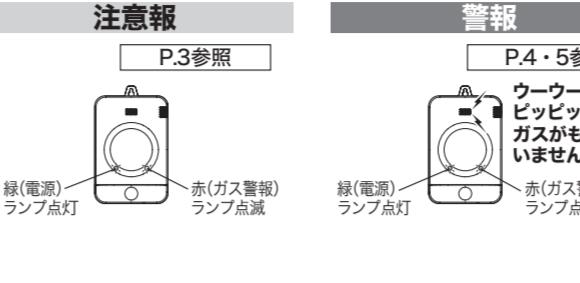
**△ 注意** 「ぬれ手禁止」事項を示しています。

**△ 警告** 「一般的な禁止」事項を示しています。

## 警報器のお知らせ機能について

## ガスがもれたときは

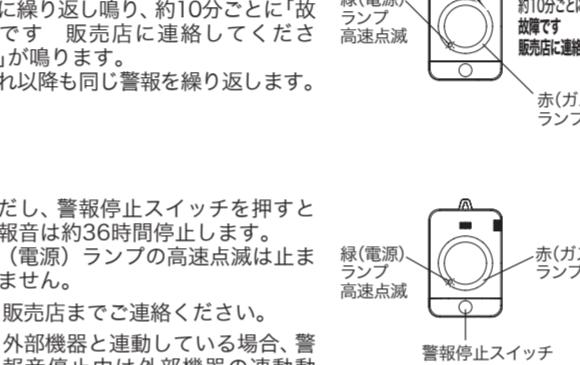
警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。  
 低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



※販売店までご連絡ください。

## 故障しているときは

故障が発生すると、「故障です」販売店に連絡してください  
 その後、「ピッピッピ!」と約1秒間停止します。  
 その後、「ピッピッピ!」と約1分ごとに「故障です」販売店に連絡してください  
 その間に繰り返し鳴り、約10分ごとに「故障です」販売店に連絡してください  
 それ以後も同じ警報を繰り返します。



ただし、警報停止スイッチを押すと警報音は約36時間停止します。

緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。

※販売店までご連絡ください。

※外部機器と連動している場合、警報音停止は外部機器の連動動作です。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

警報停止スイッチを押すと警報音は約36時間停止します。

緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。

※販売店までご連絡ください。

※外部機器と連動している場合、警報音停止は外部機器の連動動作です。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

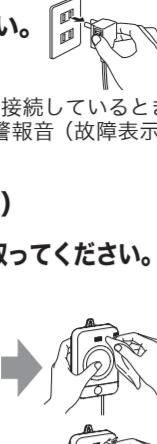
※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

※警報音

## お手入れのしかた

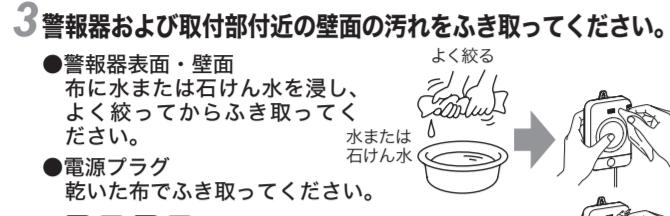
### 1 電源プラグをコンセントから抜いてください。



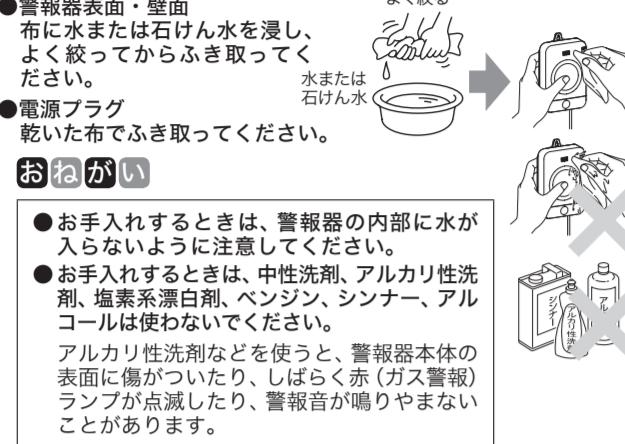
#### △お断わり

外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

### 2 警報器を取り外してください。（P.6参照）



### 3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

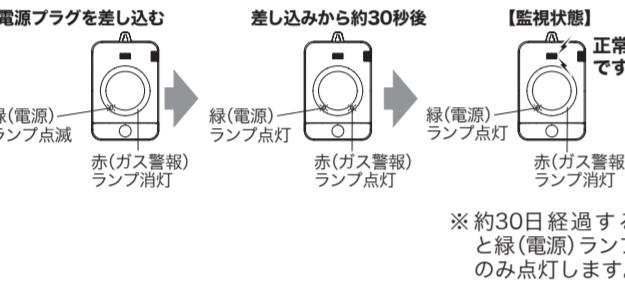


### 4 警報器を取り付けてください。（P.6参照）

### 5 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

●警報器の電源が入ります。  
緑（電源）ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑（電源）ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態になります。

異常があれば「故障です」販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

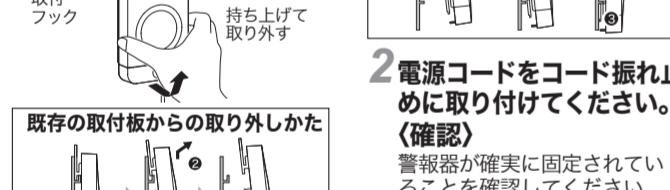


## 警報器の取り外し・取り付けかた

### 〈取り外しかた〉



### 1 電源コードをコード振れ止めから取り外してください。



### 2 本体を持ち上げて取り外してください。



## 噴霧式殺虫剤を使用するときは

### △警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。

警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。  
電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

### △注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。  
転落、転倒、落下の原因になります。

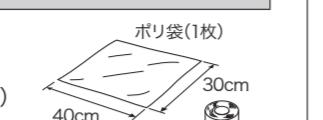
## 1.警報器をポリ袋で覆ってください

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器以下の処置をしてください。

### 警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

#### 〈準備するもの〉

- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）  
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。



#### ●ひも（1本）

#### ●粘着テープ

#### 〈処置のしかた〉

- ①警報器を取り外してください。（P.6参照）



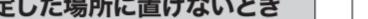
- ②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。



- ③ポリ袋と電源コードの間に隙間ができるないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。



- ④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。



### 警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

#### 〈準備するもの〉

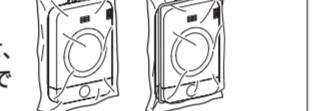
- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）  
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。



#### ●輪ゴム（3本）

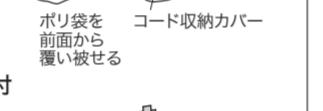
#### ●粘着テープ

- 養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。



#### 〈処置のしかた〉

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム（3本）でしっかりと止めてください。



- ②ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。



- ポリ袋と壁面の間に隙間ができるないように、粘着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。

- ※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。

### 2.噴霧式殺虫剤を噴霧してください

以下のときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。

噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

#### ●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。

必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。

#### ●噴霧式殺虫剤と警報器の真下で使用したとき。

警報器の真下は避けください。

#### ●ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。

警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。

ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。

経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

#### 3.ポリ袋を取り外してください

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。

警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。

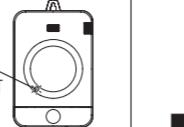
#### △おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

## 定期点検

### 日常の点検

日常、警報器の緑（電源）ランプが点灯していることを確認してください。



※緑（電源）ランプが消しもしくは高速点滅している場合は、販売店に連絡してください。（P.8「故障かな?と思ったら」を参照ください。）

### 警報機能の点検

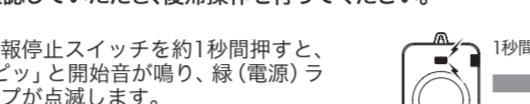
#### △警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。

- 点検をするときは、必ず安定した台上に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

### △注意

- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。



- ①警報停止スイッチを約1秒間押すと、「ピッ」と開始音が鳴り、緑（電源）ランプが点滅します。



- ②以下のように作動することを確認してください。

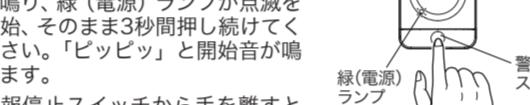
音声内容	ランプ	有電圧出力	
	緑 (電源)	赤 (ガス警報)	(12V)
「正常です」	点滅	点灯	OFF (6V)

- 過去約10日以内に警報が作動した場合のみ、全ランプが点灯、1秒消灯のあと、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

- ③監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。

### 警報音の点検

- ①警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅を開始、そのまま3秒間押し続けてください。「ピッピッ」と開始音が鳴ります。



- ②警報停止スイッチから手を離すと以下のよう作動することを確認してください。

動作順	音声内容	ランプ	有電圧出力	
		緑 (電源)	赤 (ガス警報)	(12V)
1	「ウーピッピッピッピッ ガスがもれていますか」	点滅	点灯	OFF (6V)
2	「ピー」	点灯	消灯	OFF (6V)

※警報音を切り替えた場合は設定された音声が鳴ります。

③監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。

※警報音を切り替えた場合は設定された警報音が鳴ります。

## 故障かな?と思ったら

### こんなときは

- 緑（電源）ランプが点滅しているとき。

必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。

### ここを確認して

- 警報器が正常に固定されているか。

電源プラグが抜けているか。

電源ブレーカーが切れていないか。

停電でなければ、警報器の故障が考えられます。

警報器の故障を知らせています。

警報器の有効期限切れを知らせています。

警報停止スイッチを1秒間押してください。

原因を調べてください。（P.5 参照）

ガス機器の異常が考えられます。

ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。

警報器の有効期限が切れています。

警報停止スイッチを1秒以上押してください。

警報停止スイッチを1秒以上押してください。